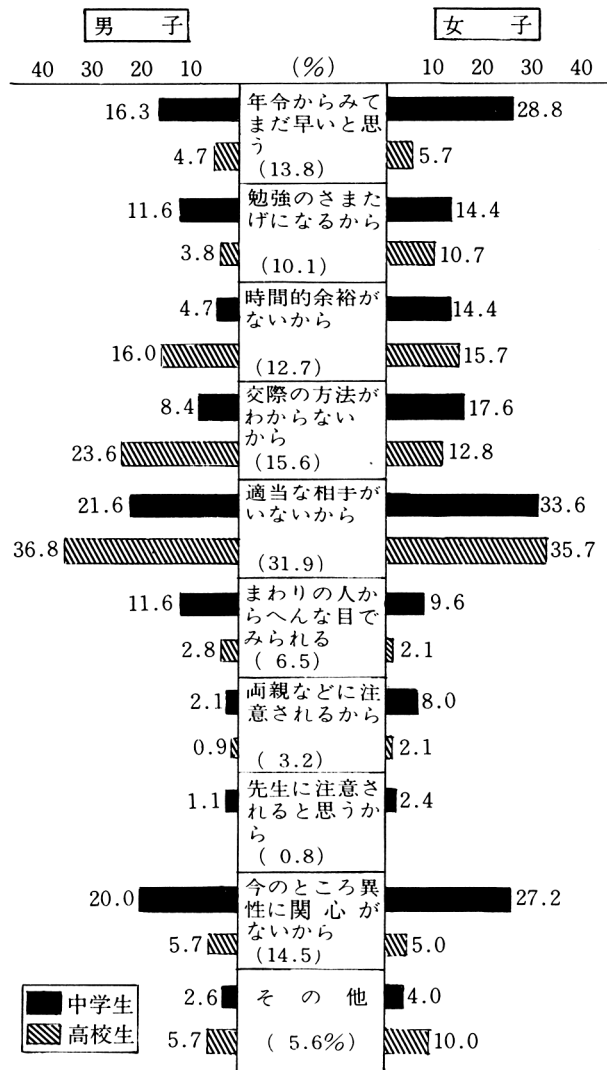


交際状況は、1対1の場合は上学年ほど多くなる。グループ交際は、中学女子が28.1%で小学生の2倍強である。1対1のときもグループ交際の両方の場合も男子は約70%以上が望んでいる。高校女子は、男子について同じ傾向であるが、中・高校の差はあまり顕著でない。相手に同性の友を選定するのが、小学校男・女子は、80%以上であ

る。中・高生の女子が相手に異性を求める状態が25~37.8%あるが、男子は、75~93.1%の約3倍の高率になり、中学生の時期が最高で、相手への関心の高い状態がみられる。全体の傾向は、複数で交際が行なわれているようで、友情としての健全な男女交際とみるべきであろう。

図14. 異性の友だちをもたないわけは、なぜでしょうか。



( )は中・高生全体の%

適当な相手がないというのは、中・高校と学年を追って増加している。

その他の理由としては自己的なことで時間に余裕がないとか、交際の方法がわからないと答えているのが全体の3分の1ぐらいで注目をひく。

否定的な意見として、勉強のさまたげになるとか、年齢からみてまだ早いという意見が23.9%あり、中・高生が学業に専念したい気持ちのあることがうかがわれる。

人間的なこととしては、まわりの人に気をつかう様子は特によく、友だちにへんな目でみられるとか、両親に注意されるからとか、先生に注意されるということを感じとっているし、男子より女子がこの傾向が強い。異性の友人をもたない理由が、上記の4つの観点から大きくわけられた。